

(別紙)

学校生活管理指導表記載のポイント (気管支ぜん息)

○これまでの学校生活管理指導標は、小児気管支喘息治療・管理ガイドラインの「重症度分類」を用いていましたが、令和2年度より「コントロール状態」で評価されることになりました。例えば、長期管理薬を使用しながら症状無く過ごしている場合、これまでは軽症持続型から重症持続型などの重症度として評価されていましたが、学校生活においては実際にどの程度コントロールされているかどうか、が重要であるため、この場合は「コントロール良好」になります。コントロール状態の評価は「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2020」に記載されている下記の表が参考となります。

コントロール状態の評価(最近1か月の状態で評価)			
最近1か月の状態で評価			
軽微な症状*1	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 月1回以上	<input type="checkbox"/> 週1回以上
明らかな急性増悪(発作)	<input type="checkbox"/> なし		<input type="checkbox"/> 月1回以上
日常生活の制限*2	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 軽微にあり	<input type="checkbox"/> 月1回以上
β ₂ 刺激薬の使用	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 月1回以上	<input type="checkbox"/> 週1回以上
*1: 運動や大笑い、啼泣後に一過性に認められる咳や喘鳴、夜間の咳込みなど	すべて該当する	上記の一つ以上該当ありかつ、不良に該当がない	一つ以上該当あり
*2: 夜間の覚醒、運動ができないなど			
コントロール状態	良好	比較的良好	不良

○学校生活上の留意点 A. 運動 の項で、「強い運動は不可」と記載せざるを得ない重症例は、治療の見直しまたは専門施設へのご紹介をご考慮願います。